

1 教科について

国語

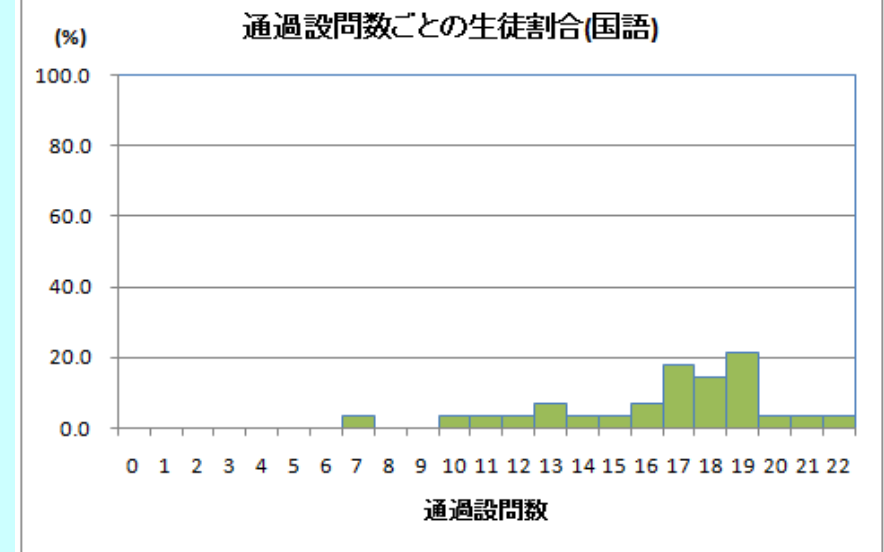
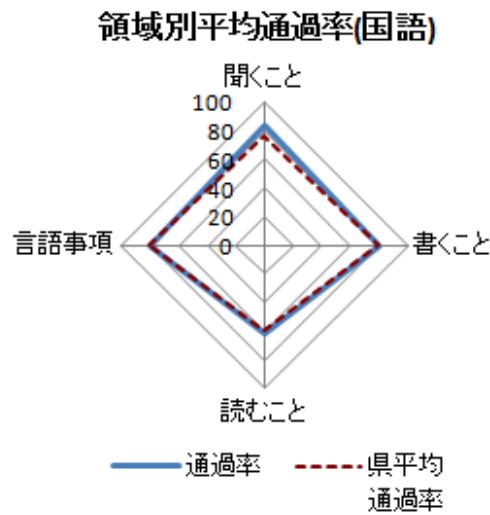
昨年度の課題

- ①主語述語の関係の理解が不十分である。
- ②登場人物の把握ならびに心情の把握が不十分である。
- ③自分の意見を理由を明確にして説明する力が不十分である。

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

- ①読みとりの際には、常に主語を意識して読み取るよう指導した。
- ②誰がどういう立場で文章に登場しているのかの確認をさせた。
- ③自分の意見や立場を明確にし、なぜそう思うのかを書かせる指導をした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 74.8% 県平均 73.2%



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎・・・言語事項の理解が不十分である。
- ◎・・・説明的文章の展開の把握が不十分である。
- ◇・・・

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①行書や草書など、漢字の書き方の指導を増やす。
- ②古文・漢文の音読を充実させる。
- ③説明的文章の正確な読みとりとともに、その構成や段落の役割を把握する指導を充実させる。

来年度の目標値

- 言語事項の問題を2ポイントアップさせる。
- 説明的文章の問題の正答率を2ポイントアップさせる。

指導方法等の改善計画について

数 学

昨年度の課題

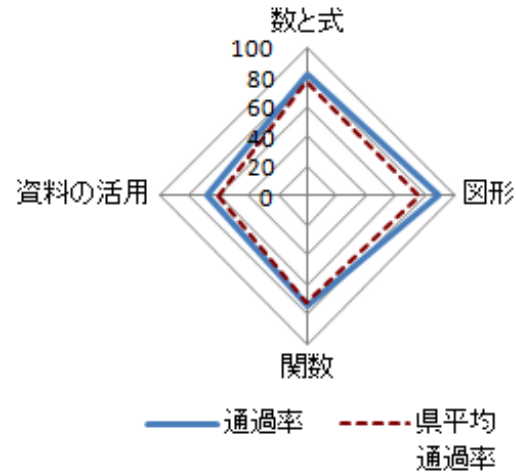
- ①文章で表された関係（比例、反比例）を読み取れない。
- ②度数分布表から相対度数を求めることができない。
- ③平行四辺形になるための条件を求める問題ができていない

昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

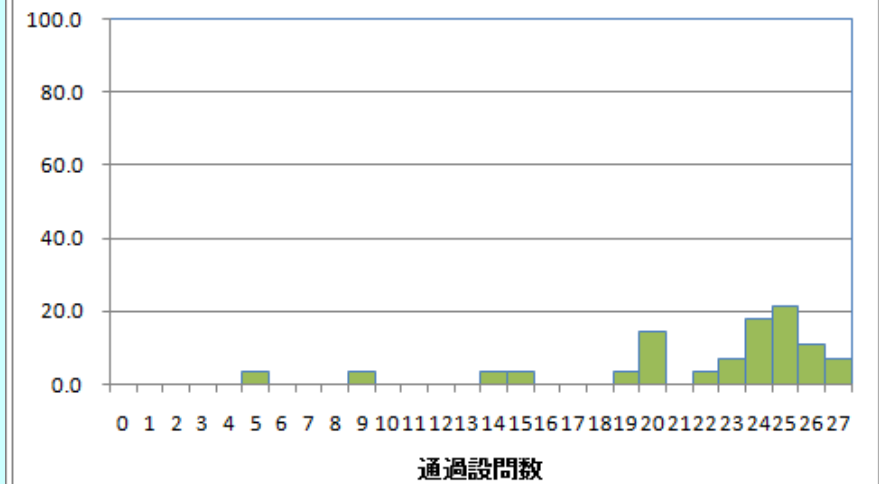
- ①文章で表された関係（比例、反比例、1次関数）を求める場合は、まずはじめに関係を等式にすることを指導した。
- ②度数分布表の読み方や、相対度数の意味、求め方を指導した。
- ③図形については重要事項を定期的に復習した。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **81.0%** 県平均 **74.7%**

領域別平均通過率(数学)



通過設問数ごとの生徒割合(数学)



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・2つのグラフを関連づけて考えることができていない。
- ◎・・・数量関係を文字を用いた式で表すことができていない。
- ◇・・・

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①グラフを書くと同時にそのグラフの見方を指導する。
- ②数量関係を文字に表すとき、具体から一般へと指導していく。
- ③

来年度の目標値

- グラフの見方の問題を2ポイントアップさせる。
- 数量関係を文字で表す問題を2ポイントアップさせる。

指導方法等の改善計画について

英語

昨年度の課題

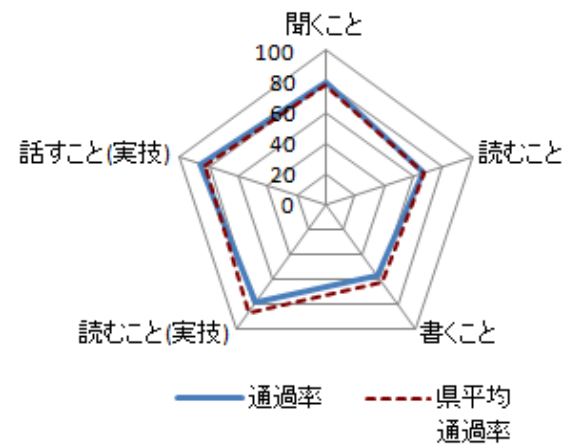
- ① 3人称複数の一般動詞の疑問文の作り方が理解できていない
- ② 英文のきまりを理解した作文が書けていない

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

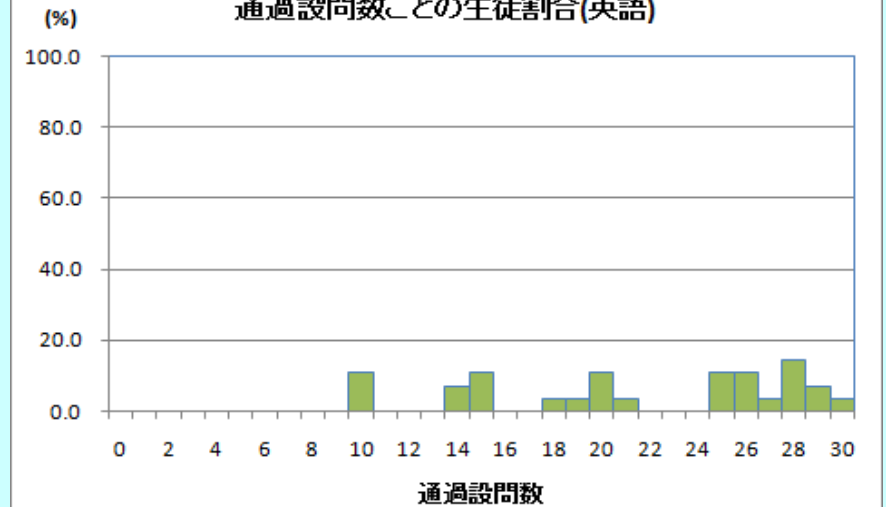
- ① 基本的な英語のルールを理解を徹底させる
- ② 日常的に、『書く』ことの指導の比重をさらに大きくする
- ③ 小テストや定期テストなどでの書くことを重視した問題を、その後の指導でも活用し、定着させる

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 71.5% 県平均 71.9%

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・辞書の初歩的な使い方を知らない生徒が特に多い
- ◎・・・基本的な文の決まりを理解した作文の通過率が悪い

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

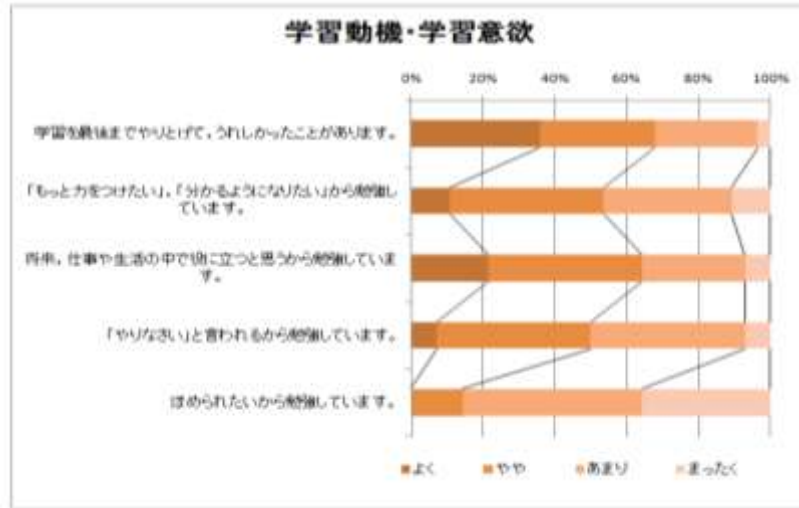
- ① 基本的な英語のルールを理解を徹底させる
- ② 日常的に、『書く』ことの指導の比重をさらに大きくする
- ③ 辞書指導を取り入れる

来年度の目標値

- 「並び替えて書く」問題での10ポイント以上のアップ
- 「英作文」問題での5ポイント以上のアップ

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，生徒質問紙）

(1) 生活・学習

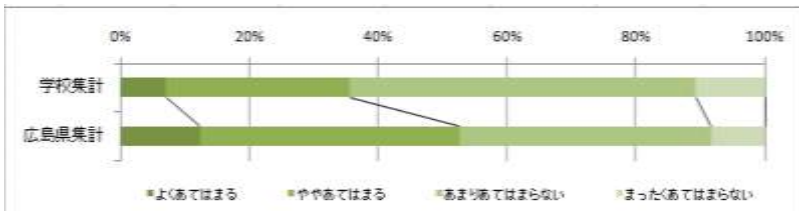


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎「学習を最後までやりとげて、うれしかったことがあります。」が67.8%、「『もっと力をつけたい』、『分かるようになりたい』から勉強しています。」が53.6%と、県平均に比べてそれぞれ-16.7%、-18.9%であり、学習動機や学習意欲に関する肯定的評価が低い。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノートを毎日行うこととあわせて、内容を充実させるために、良いものを紹介し、評価していく。 ・将来の目標を持たせ、学習する意味をしっかりと考えさせる。 ・自分に合った目標や計画を立てさせ、達成できたことに対して評価をしていく。 ・保護者との連携を深め、家庭でも達成できたことに対して評価してもらう。

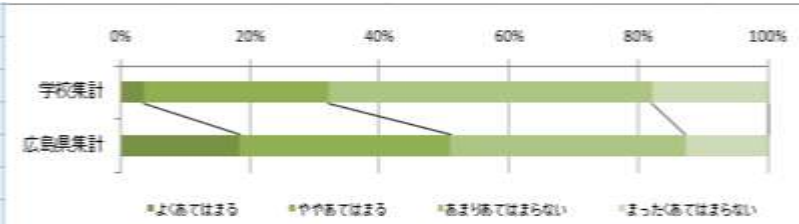
来年度の目標値	目標設定
	・学習を最後までやりとげて、うれしかったことがあります。」「『もっと力をつけたい』、『分かるようになりたい』から勉強しています。」の肯定的評価を5ポイント以上アップさせる。

(2) 教科

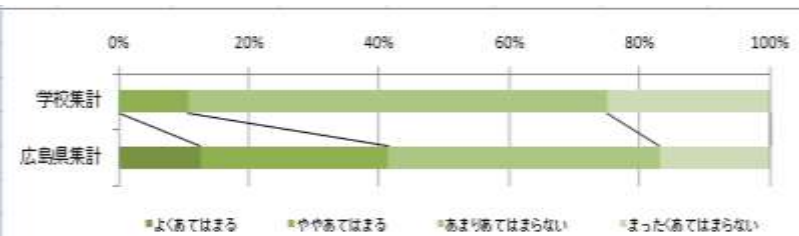
国語の授業では、話をするとき、最も伝えたい中心をどこで言うと分かりやすいか考えながら話しています。



数学の授業では、反比例の関係にあるかを考えるときには、反比例の特徴だけでなく、比例の特徴と比較しながら考えています。



英語の授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎「国語の授業では、話をするとき、最も伝えたい中心をどこで言うと分かりやすいか考えながら話しています。」35.7%で、県平均に比べて-16.9%であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する内容を文章で書かせる等、話す内容を推敲する機会をつくる。 ・いろいろな教育活動において、発表する機会をつくり、評価をしていく。
数学	◎「数学の授業では、反比例の関係にあるかを考えるときには、反比例の特徴だけでなく、比例の特徴と比較しながら考えています。」32.2%で、県平均に比べて-18.9%であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章で表された関係（比例、反比例、1次関数）を求める場合は、関係を等式にすることの指導を継続していく。
英語	◎「英語の授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。」10.7%で、県平均に比べて-30.7%であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動を積極的に取り入れ、自分の考えや気持ちを英語で表現する機会を増やす取組を継続していく。 ・表現する内容を英文で書かせる等、準備をさせる。

来年度の目標値	目標設定
	・課題としてあげた項目を5ポイントアップさせる

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
	Plan		Do			Check	検証	Action	Check
	結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施			次年度の計画					
【教科】									
国語	本年度の計画	漢字ノート・ドリルの提出 定期テストの分析文 ミニ意見文を書く 主語・述語の確認をする							次年度の計画
数学	本年度の計画	頑張りノートの提出 授業はじめの小プリント 数学的な見方考え方に関する問題に取り組む 課題学習に取り組む							次年度の計画
		休み明けテストで成果の確認		定期テストで成果の確認		休み明けテストで成果の確認		定期テストで成果の確認	次年度の計画
英語	本年度の計画	書くことを取り入れた授業・単元テスト・英文法指導の工夫改善							次年度の計画
				定期テストで意識付けと復習・確認			辞書指導	定期テストで意識付けと復習・確認	次年度の計画
【生活・学習】									
学習意欲の向上	本年度の計画	生活ノート・自主学習ノートの提出 日常的な声かけ		テスト学習計画表の作成	テスト学習計画表の作成	三者懇談		テスト学習計画表の作成	次年度の計画
		「家庭学習の手引き」配布		個人面談		アンケート実施		個人面談	次年度の計画